


今年の夏は観測史上で最も暑い夏であったと気象庁の発表があった。原因としては、偏西風が北寄りに吹いた、列島の上空で太平洋高気圧とチベットの高気圧の二つの高気圧が重なったなどと、理由は様々あるようである。職員や利用者との朝の挨拶でも、申し合わせた訳ではないが「今日も暑いですね」で始まるが多かった。小学生の頃、夏休みの宿題に、日々の天気や気温を記入する箇所があり、三十度を超える日が少なかったと記憶しているが、今では真夏日や猛暑日も当たり前となり、四十度を超えることにも驚かなくなってきた。日本の夏を分ける三夏は、さわやかな初

夏、梅雨の蒸し暑い仲夏、暑さの厳しい晩夏といわれている。九月になっても暑さの続く、近年の長引く晩夏もどうにかならないだろうかと思っている。春や秋の存在は年々低下している。外国のように四季から二季となっていくのだろうか。多くの人が知っている「春を愛する人は、心清き人」から始まる、荒木とよひさ氏が作った、四季の歌も実感が無いものとなるのかもしれない。ある作家は、四季を繰り返すことで日本人の感性は微妙さを備えている。春と秋があることにより、曖昧、のどか、微妙、か細さを感じられると述べている。言われるとおり、春

人を物思いに誘う感傷などは、この時期ならではの繊細な感覚ではないだろうか。熱波や寒波でない状態は過ごしやすく、体も心も穏やかに過ごすことができる。逆に熱波や寒波のみとなれば、曖昧が減り、他人に激情だけで求めることや、傷つけたりするようになるのかもしれない。数学者の森毅氏は、専門分野から想像すると意外だが「ええかげん」が大好きであった。一方、聖書の黙示録には、「熱くも冷たくもなく、なまぬるいので、わたしはあなたを口から吐き出すうとしている。」とあり、信仰の世界では、曖昧さは許されず、物事への決断の態度をはっきりするよう求められている。



令和7年10月1日発行

広島県立  
総合リハビリテーションセンター

**あけぼの**

〒739-0036  
東広島市西条町田口 295-3  
TEL (082) 425-1455

は出会いと別れの季節であり、人恋しさを感じるとともに、桜の花を見て、わずかに数日間、彩られた後に、あっさりと散る桜から儚さを知ることが出来る。秋の

る。私たちが従事する高次脳機能障害者へのサービス提供期間は二年という明確な期限が定められており、期限内に結果を出すことが必須である。他方、食事時間や入浴のように時間だからという理屈が当てはまらないことも多い。個人的には、前述の「のどか」や「曖昧」は好きであり、施設の責任者の立場にあるにもかかわらず、「テキトー」も好きであることから、なまぬるい人間である。太陽に近づきすぎて墜落した古代ギリシャのイカロスの例もあることから、夏の疲れを癒す心地良い「ぬる湯」に浸かるのもいいかもしれない。



## 生活訓練グループ

訓練の一環として実施している「行事企画（フしゼン）」について紹介します。

**目的：コミュニケーション能力の向上（対人技能 感情コントロール 欲求コントロール）**  
**物事を計画的に円滑に進める力の向上**  
**記憶や注意機能などの代償手段を活用（メモリーノートやスマートフォンなど）**  
**健康的な生活習慣の獲得 身体機能維持向上 等**

- ①計画：メンバーで役割分担、行先、タイムスケジュール、準備物など協議検討します。
- ②準備：計画に従って、各自の役割や準備したものを模造紙に張り付けたり、記入します。
- ③フしゼン：代表者に調べた内容や行きたい気持ちなど発表してもらいます。フしゼンの結果を踏まえて、最終的な行先を決定します。
- ⑤実施：自分たちで立てた計画に沿って行動します。
- ⑥振り返り：うまくいったこと、うまくいかなかったことについて、その原因と対策を考えます。苦手になっていることについては、対策を身に着け今後の行動につなげることを目指します。

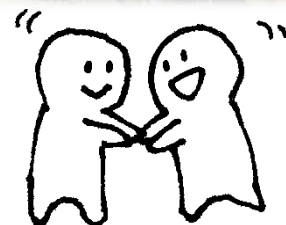


## 生活介護

利用者さんのやりたいことを一緒に考え、様々な活動に取り組んでいます。

8月に実施した納涼会では、生活介護の利用者さんを中心に準備など進めました。それぞれが役割を担い、利用者一丸となった行事となりました。

そのほかクッキングでは、やけどに注意しながらミニホットケーキを作りました。集団スポーツでは的あてやボウリングに取り組み、白熱した勝負になり盛り上がりました！





## 機能訓練グループ

個別トレーニングの様子をご紹介します。



### 屋外歩行

周囲の安全に注意しながら屋外を歩く練習。入所中は室内での生活が主になってしまうため、屋外の環境に慣れることも目的。



### ジョーバを使用した体幹トレーニング



### エアロバイクでの筋力トレーニング



### 地域生活に向けた階段昇降の練習



## 通所(就労)グループ

### 電話連絡

手元資料を用意して、作業の進捗確認をしています。電話が苦手な利用者も口頭での伝達や聞き取りの力を身につけていきます。



### 掃除

利用者の居室や相談室、玄関などを定期的に清掃しています。



### 作業管理

指示書を見て納品指定日、納品数を確認した後、作業の優先順位をつけていきます。納品日が同じでも、数量や作業内容ごとの所要時間などに注意しながら優先順位をつけていきます。

## 施設間交流



意見交換会の様子

9月25日に、高知ハビリテーリングセンターの職員3名が来所され、生活介護事業を中心にあけぼのを見学されました。

見学後は意見交換会を行い、各施設での取り組みや、悩みを相談しあい、とても充実した交流の機会になりました。

10月には、あけぼのから高知ハビリテーリングセンターへ見学に行く予定です。



## 利用者の動き

(令和7年6月1日～令和7年9月30日)

《新規利用者》 8名(就労移行支援1, 生活訓練7)(通所2, 入所6)

【利用経路】高次脳機能センター6(外来2, 入院4), 特別支援学校1, 事業変更1

《利用終了者》 8名(就労移行支援1, 生活訓練4, 生活介護3)(通所2, 入所6)

【進路先】日中活動: 就労継続支援B型2, 生活訓練1, 生活介護1, デイケア1, 未定2

生活の場: 自宅2, グループホーム2, 障害者支援施設1, あけぼの1(就労アセスメント1)

利用状況 令和7年10月1日現在

	生活訓練 (定員 24)	就労移行支援 (定員 6)	生活介護 (定員 30)	施設入所支援 (定員 40)
在籍数	18	1	11	26



利用のご相談は  
随時受け付けて  
います。

## 編集後記

今年の夏もとても暑く、朝から晩まで冷房が欠かせない日々が続きました。皆様はどうお過ごしになりましたか？

私事です。が今年の5月に支援員としてあけぼのへ入所し、新しい日々がスタートしました。とても緊張していましたが、スタッフ・利用者の皆様の優しさで心遣いにより今まで頑張ることが出来ています。心から感謝しております。

寒暖差の影響で体調を崩しやすい季節に入りますが、皆様どうぞお健やかに過ごしてください。

## 題字紹介

今回は、利用者の松森吉彦さんに「曙光」を書いていただきました。依頼した際は少し驚いた様子で笑っておられました。最後まで力強く書いてくださり、立派な題字が完成しました。書き終えた後の素敵な笑顔もとても印象的でした。